

村の仕事は、みなさんの生活と密接に結びついていきます。それだけに、一円たりともムダにできません。

村では毎年、限られた財源の中で、「夢とやすらぎのある村づくり」「岩室村に住んで本当に良かった」といわれる活力のある地域づくりに努力しています。

今回お知らせするのは、昭和六十一年度（六十一年四月～六十二年三月）の決算です。これはみなさんの暮らしに直接かかわった村の家計簿の集計です。

なお、この決算は昨年の十二月定例村議会で審議され承認を受けました。

努力が実り健全運営に

こうして、六十一年度は村民のみなさんが必要とされる分野には積極的に取り組む一方、限られた財源の効率的な運用に努めた結果、収支状況では、一億九百二十万円の黒字となり、健全な財政運営を進めることができました。

歳出を目的別に見ると、保育園建設に取り組んだ民生費が、九三・〇％（一億五千五百万円）増えました。また、田ノ浦温泉開発事業など地域活性化対策を進めた商工費が四五・二％（五千四百万円）、危険河川などの災害復旧に努めた災害復旧費が一五一・五％（二千三百万円）と大幅な増となりました。

さらに性質別に見ると、普通建設事業費が七億六千八百四十四万円で全体の三四％を占めています。以下、人件費（五億七千八百四十六万円）、物件費（各施設の光熱水費や総合検診などの住民健康診断費など）（二億五千五百四十六万円）、補助費（消防や衛生組合（ごみ・し尿など）の負担金や各種団体の助成金など）（二億一千四百五十四万円）などが主なものです。

建設事業費は七億円に

歳出を目的別に見ると、保育園建設に取り組んだ民生費が、九三・〇％（一億五千五百万円）増えました。また、田ノ浦温泉開発事業など地域活性化対策を進めた商工費が四五・二％（五千四百万円）、危険河川などの災害復旧に努めた災害復旧費が一五一・五％（二千三百万円）と大幅な増となりました。

さらに性質別に見ると、普通建設事業費が七億六千八百四十四万円で全体の三四％を占めています。以下、人件費（五億七千八百四十六万円）、物件費（各施設の光熱水費や総合検診などの住民健康診断費など）（二億五千五百四十六万円）、補助費（消防や衛生組合（ごみ・し尿など）の負担金や各種団体の助成金など）（二億一千四百五十四万円）などが主なものです。

昭和六十一年度は、魅力ある村づくりへの基盤整備とともに、個性的な政策をすべての面できめ細かく配し、厳しい財政環境のなかでも村勢にバイタリティを与える村政運営を行いました。その結果、一般会計は、図のような決算額になりました。歳出（支出）決算額は、前年度（六十一年度）に比べて約一億六千七百方円の増となりました。これは、子供たちの明るい明日を考え整備した和納保育園の改築が主要要因です。

昭和六十一年度は、魅力ある村づくりへの基盤整備とともに、個性的な政策をすべての面できめ細かく配し、厳しい財政環境のなかでも村勢にバイタリティを与える村政運営を行いました。その結果、一般会計は、図のような決算額になりました。歳出（支出）決算額は、前年度（六十一年度）に比べて約一億六千七百方円の増となりました。これは、子供たちの明るい明日を考え整備した和納保育園の改築が主要要因です。

61年度はこのように使いました

一万村民の家計簿

昭和61年度

村税の内訳(収入)

村民一人当たり 71,950円
(62年3月末の人口で計算)

村たばこ消費税
4,783万円
(6.6%)

入湯税
2,541万円
(3.5%)

固定資産税
3億6,075万円
(49.5%)

村民税
2億5,082万円
(34.4%)

電気税
3,296万円
(4.5%)

その他(軽自動車・ガス税など)
1,129万円 (1.5%)

一般会計決算



民生費
5億2,974万円 (23.4%)

- ▶和納保育園建設 2億4,714万円
- ▶保育園施設整備 1,078万円
- ▶老人憩いの家整備など 1,828万円
- ▶老人保健特別会計への繰出金 2,406万円
- ▶老人クラブ助成 170万円

公債費
1億9,307万円
(8.5%)

▶村の借入金返済

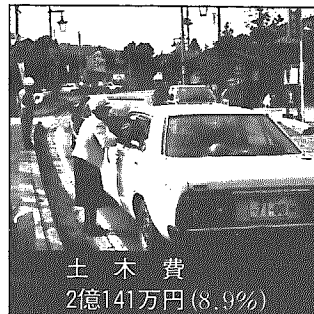
商工費
1億7,236万円
(7.6%)

- ▶産業育成資金貸付 4,000万円
- ▶田ノ浦温泉掘削 3,980万円
- ▶商工会助成など 799万円
- ▶温泉まつり協賛など 678万円



総務費
2億1,817万円 (9.7%)

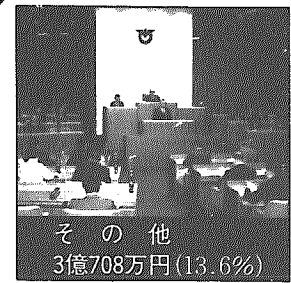
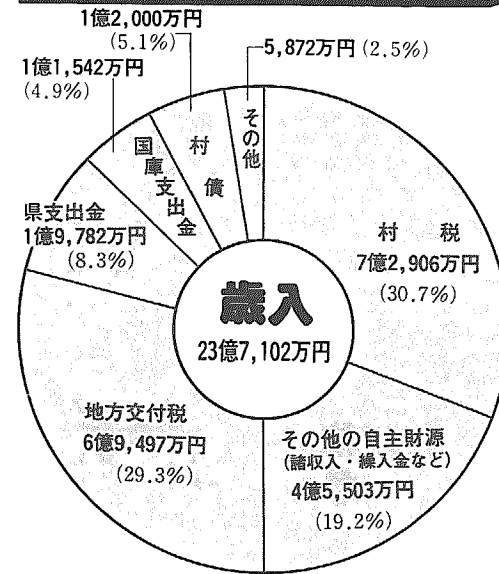
- ▶各種機関・団体助成 739万円
- ▶選挙関係 691万円
- ▶交通安全対策 605万円
- ▶村旗購入 70万円



土木費
2億141万円 (8.9%)

- ▶村道の舗装や改良など 1億1,386万円
- ▶除雪車購入 1,746万円
- ▶河川維持など 826万円
- ▶都市計画 900万円

歳入総額 23億7,102万円
歳出総額 22億6,190万円
差引(黒字) 1億 912万円



その他
3億708万円 (13.6%)

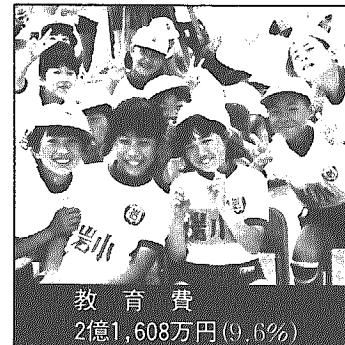
- ▶消防費 1億516万円
- ▶諸支出金 9,797万円
- ▶議会費 6,647万円
- ▶災害復旧費 3,748万円

衛生費
1億4,085万円
(6.2%)

- ▶衛生組合負担金(ごみ・し尿) 6,832万円
- ▶ごみ収集事業 2,126万円
- ▶総合検診事業 1,032万円

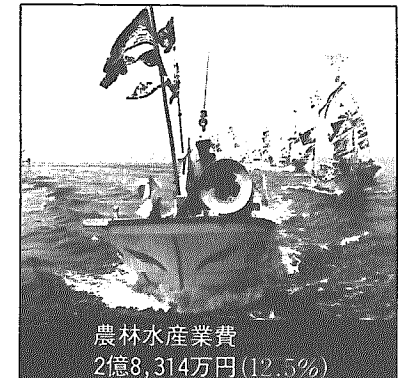
歳出 22億6,190万円

▶印の項目はおもな事業費です。



教育費
2億1,608万円 (9.6%)

- ▶小・中学校施設整備 1,945万円
- ▶間瀬運動広場整備(コミュニティ事業) 390万円
- ▶奨学金貸付 306万円
- ▶室内ゲートボールマットなど 352万円



農林水産業費
2億8,314万円 (12.5%)

- ▶水田農業確立対策 1,103万円
- ▶農村総合整備モデル事業 7,912万円
- ▶漁港整備など 997万円
- ▶集落開発センター助成 450万円

国民健康保険

歳入	5億1,778万円
歳出	4億9,360万円
差引	2,418万円

老人保健

歳入	4億4,556万円
歳出	4億4,556万円
差引	0万円

温泉集中加熱事業

歳入	5,454万円
歳出	4,041万円
差引	1,413万円

土地取得

歳入	405万円
歳出	0万円
差引	405万円

※特別会計中、水道事業会計と農業共済会計は次回お知らせします。

特別会計決算

昭和61年度